

## 平成20年度一般会計当初予算のポイント

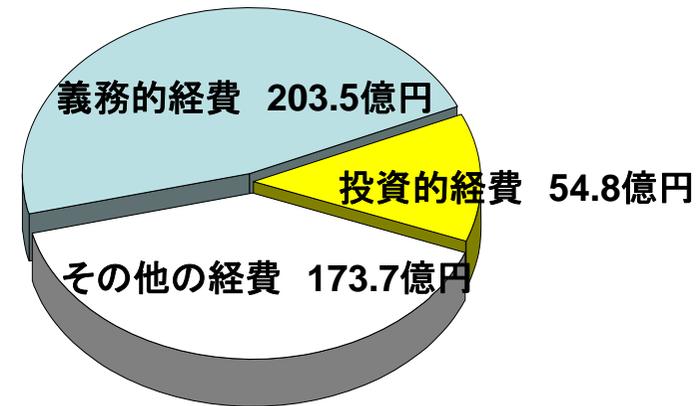
## 「芽出しの年」から「深化の年」へ

～ 当初予算額 432億円 ～

## ①「行財政改革の推進」による義務的経費削減

## ②「選択と集中」による計画的な公共施設整備の推進

## ③「戦略的な産業政策」の実践 ～ 地域経済の再活性化



## 【行財政改革の推進】 △5.2億円

- ・ 職員人件費 △335,713千円  
(職員数△38人)
- ・ 枠配分による経常経費 △124,859千円
- ・ 借換えによる公債費 △63,118千円

経常収支比率(見込み)  
⑱91.0%→⑳90.6%

## 【公共施設整備】

- ・ 救急医療施設整備 111,943千円(債務負担)
- ・ 教育施設用地取得 601,832千円(債務負担)
- ・ 新保裏館線道路改築 537,933千円
- ・ 斎場建設 543,008千円

## 選択と集中

- ・ 御蔵橋架替事業(縮小)
- ・ 地域間交流施設建設事業(完了)
- ・ 下田公民館改築事業(完了)



## 【戦略的な産業政策】

- ・ 燕三条ブランドの確立
- ・ 農業活性化プランの策定
- ・ 交流拠点施設等整備検討
- ・ 海外販路開拓への支援

地域経済の再活性化